

宿 泊 約 款

1 (範囲)

当館が宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとする。

2 当館が、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとする。

2 (契約の申し込み)

当館に宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当館に申し出ていただきます。

- (1) 宿泊者名
- (2) 宿泊日及び到着予定時刻
- (3) 宿泊料金（原則として別表第 1 の基本宿泊料による）
- (4) その他当館が必要と認める事項

2 宿泊客が、宿泊中に前項第 2 号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当館は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申込みがあったものとして処理します。

3 (契約の成立等)

宿泊契約は、当館が前条の申込みを承諾したときに成立するものとする。ただし、当館が承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。

2 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3 日を超えるときは 3 日間）の基本宿泊料を限度として、当館が定める申込金を当館が指定する日まで、にお支払いいただきます。

3 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第 6 条及び第 18 条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第 12 条の規定による料金の支払いの際に返還します。

4 第 2 項の申込金を同項の規定により当館が指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとする。

ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当館がその旨を宿泊客に告知した場合に限りする。

4 (申し込み金の支払いを要しないこととする特約)

前条第 2 項の規定にかかわらず、当館は、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。

2 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当館が前条第 2 項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

4 の 2 (施設における感染防止対策への協力の求め)

当館は、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和 23 年法律第 138 号）第 4 条の 2 第 1 項の規定による協力を求めることができます。

5 (契約締結の拒否)

当館は、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当館が旅館業法第 5 条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊の申込みが、この約款によらないとき。
- (2) 満室（員）により客室に余裕がないとき。
- (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序もしくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- (4) 宿泊しようとする者が、次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成 3 年法律第 77 号）第 2 条第 2 号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同条第 2 条第 6 号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員の中に暴力団員に該当する者があるもの
- (5) 宿泊しようとする者が、他の宿泊客等当館が提供するサービスの利用者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (6) 宿泊しようとする者が、旅館業法第 4 条の 2 第 1 項第 2 号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。
- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき（宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成 25 年法律第 65 号。以下「障害者差別解消法」という。）第 7 条第 2 項又は第 8 条第 2 項の規定による社会的障害の除去を求める場合は除く。）。
- (8) 宿泊しようとする者が、当館に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第 5 条の 6 で定めるものを繰り返したとき。
- (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (10) 岩手県旅館業法施行条例第 6 条の規定する場合に該当するとき。

5 の 2 (宿泊契約締結の拒否の説明)

宿泊しようとする者は、当館に対し、当館が前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

6 (客の契約解除権)

宿泊客は、当館に申し出て、宿泊契約を解除することができます。

2 当館は、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合（第 3 条第 2 項の規定により当館が申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第 2 に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当館が第 4 条第 1 項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当館が宿泊客に告知したときに限りする。

3 当館は、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後 8 時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を 2 時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

7 (当館の契約解除権)

当館は、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することができます。ただし、本項は、当館が旅館業法第 5 条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行をしたと認められるとき。
- (2) 宿泊客が次のイからハに該当すると認められるとき。
 - イ 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ロ 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ハ 法人でその役員の中に暴力団員に該当する者があるもの
- (3) 宿泊客が他の宿泊客等当館が提供するサービスの利用者に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
- (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき。（宿泊客が障害者差別解消法第 7 条第 2 項又は第 8 条第 2 項の規定による社会的障害の除去を求める場合は除く。）。
- (6) 宿泊客が、当館に対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第 5 条の 6 で定めるものを繰り返したとき。
- (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
- (8) 岩手県旅館業法施行条例第 6 条の規定する場合に該当するとき。
- (9) 寝室での喫煙、消火用設備等に対するいたずら、その他当館が定める利用規則の禁止事項（火災予防上必要のものに限る）に従わないとき。

2 当館が前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきます。

7 の 2 (宿泊契約解除の説明)

宿泊客は、当館に対し、当館が前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

8 (宿泊の登録)

宿泊客は、宿泊日当日、当館のフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。

- (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
- (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号
- (3) その他当館が必要と認める事項

2 宿泊客が第 12 項の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

9 (客室の使用時間)

宿泊客が当館の客室を使用できる時間は、午後 3 時から翌朝 10 時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日および出発日を除き、終日使用することができます。

2 当館は、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。

- (1) 超過 3 時間までは、室料相当額の 30％
- (2) 超過 6 時間までは、室料相当額の 60％
- (3) 超過 6 時間以上は、室料相当額の 100％

3 前項の室料相当額は、基本宿泊料の 70％とします。

10 (規則の遵守)

宿泊客は、当館内においては、当館が定めて館内に掲示した利用規則に従っていただきます。

11 (営業時間)

当館の主な施設等の営業時間はフロント、備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等でご案内いたします。

2 前項の時間は、必要やむをえない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

12 (料金の支払い)

宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第 1 に掲げるところによります。

2 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当館が認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当館が請求した時、フロントにおいて行っていただきます。

3 当館が宿泊客に客室を提供し、使用が可能となったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

13 (当館の責任)

当館は、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当館の責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。

2 当館は、消防機関から通マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

14 (契約した客室の提供ができないときの取扱い)

当館は、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとする。

2 当館は、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。客室が提供できないことについて、当館の責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

15 (寄託物等の取扱い)

宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当館は、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当館がその種類及び価額の申告を求めた場合であつて、宿泊客がそれを行わなかったときは、当館は 10 万円を限度としてその損害を賠償します。

2 宿泊客が、当館内にお持込になった物品又は現金並びに貴重品であつてフロントにお預けにならなかったものについて、当館の故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当館は、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、10 万円を限度として当館はその損害を賠償します。

16 (宿泊客の手荷物又は携帯品の保管)

宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当館に到着した場合は、その到着前に当館が了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡します。

2 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当館に置き忘れられていた場合において、その所有者が判明したときは、当館は当該所有者に連絡をするともにその指示を求めるものとする。ただし当館が当該手荷物又は携帯品を発見した日から 7 日後までの間（飲食物、雑誌に関しては発見した日）に所有者の指示がない時または所有者が判明しない時、宿泊客は当該手荷物又は携帯品の所有権を放棄するものとする。

3 前項ただし書きの場合、当館は当該手荷物又は携帯品を処分できるものとする。宿泊客は当館が行った当該手荷物又は携帯品の処分について異議を述べず、当該手荷物又は携帯品に対する損害賠償請求権を放棄するものとする。

17 (駐車場の責任)

宿泊客が当館の駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当館は場所をお貸しするものであつて、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当館の故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めにたします。

18 (宿泊客の責任)

宿泊客の故意又は過失により当館が損害を被ったときは、当該宿泊客は当館に対し、その損害を賠償していただきます。

第 1 宿泊料金等の内訳（第 2 条第 1 項及び第 12 条第 1 項関係）

内 訳		
客が支払うべき総額	宿泊料金	①基本宿泊料（室料＋朝・夕食料）
	追加料金	③追加飲食（朝・夕食以外の飲食料）及びその他の利用料金
	税 金	イ、消費税 ロ、入湯税

備考 1. 基本宿泊料は、フロント及び客室内に掲示する料金表によります。

2. 子供料金は小学生以下に適用し、大人に準じる食事と寝具を提供したときは大人料金の 70％、子供用食事と寝具を提供したときは 50％、寝具のみを提供したときは 30％をいただきます。寝具、及び食事を提供しない幼児については 2,000 円をいただきます。

第 2 違約金（第 6 条第 2 項関係）

申込人数		契約解除の通知を受けた日										
		不 泊	当 日	前 日	2 日 前	3 日 前	5 日 前	7 日 前	14 日 前	30 日 前	60 日 前	90 日 前
国 内	14名まで	100 %	100 %	50 %	30 %	30 %	20 %	20 %	10 %			
	15～30名まで	100 %	100 %	50 %	30 %	30 %	30 %	30 %	10 %			
	31～100名まで	100 %	100 %	80 %	50 %	30 %	30 %	30 %	30 %			
	101名以上	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	50 %	50 %	30 %	30 %	15 %	
教育旅行	15名以上	100 %	100 %	80 %	80 %	80 %	80 %	80 %	80 %	80 %	50 %	30 %
海外 ※1	14名まで	100 %	100 %	80 %	50 %	30 %	30 %	30 %	30 %			
	15名以上	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	50 %	50 %	30 %	30 %		

※ 1 宿泊者の主たる居住지가海外の場合

注)

1. %は、基本宿泊料金に対する違約金の比率です。

2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1 日分（初日）の違約金を収受します。

3. 15 名様以上の団体様で宿泊をお申込み頂いた方について一部のお客様が契約を解除、または申し込みをキャンセルされた場合（以下「キャンセルされたお客様」と言います。）、当館はキャンセルされたお客様のうち当該団体様のお客様が宿泊される初日から起算して 10 日前（その日より後に申し込みをお引き受けした場合にそのお引き受けした日）における宿泊予定人数の 10％（端数が出た場合には切り上げる）に該当する人数を上限として違約金を免除いたします。

海外のお客様

1. 海外の旅行会社様につきましては、申込時にクレジットカードによって宿泊料金を事前決済いただく場合を除き、インターネットエージェント（楽天トラベル・じゃらん net 等）経由によって申し込みを頂いたとしても当館は宿泊を承らない事と致します。なお事前決済によるインターネット経由のお申し込みを行われた場合、当館が旅行会社に対して支払うべき販売手数料は発生いたしません。

2. 団体のお客様の場合は宿泊料金を宿泊日の 14 日前まで（ご宿泊日 14 日未満でお申し込みの場合はお申し込みの翌日まで）に事前に当館指定口座にお振込みいただきます。お振込みの確認ができない場合は予約をキャンセルいたします。

TERMS AND CONDITIONS FOR ACCOMMODATION CONTRACTS

(Scope of Application)

Article 1. Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between this Ryokan and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided herein shall be governed by laws and regulations ("laws and regulations," or those based on laws and regulations. The same shall apply hereinafter) and/or generally accepted practices.

2. In the case when the Ryokan has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions, notwithstanding the preceding Paragraph.

(Application for Accommodation Contract)

Article 2. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Ryokan shall notify the Ryokan of the following particulars:

- (1) Name of the Guest(s).
- (2) Date of accommodation and estimated time of arrival.
- (3) Accommodation charges (based in principle on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No. 1).
- (4) Other particulars deemed necessary by the Ryokan.

2. If Guests request to extend their stay, during their stay, beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

Article 3. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Ryokan has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Ryokan has not accepted the application.

2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit set by the Ryokan within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (3 days when the period of stay exceeds 3 days) by the date specified by the Ryokan.

3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charge to be paid by the Guest, secondly for cancellation charges under Article 6 and thirdly for reparations under Article 18 as applicable. The remainder, if any, shall be refunded at the time of payment for accommodation as stated in Article 12.

4. If the Guest fails to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Ryokan shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Ryokan when the period of Payment of the deposit is specified.

(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

Article 4. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Ryokan may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.

2. In the case when the Ryokan has not requested payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as though the Ryokan has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

(Request for cooperation in infection control measures at facilities)

Article 4-2. The Ryokan may request cooperation from the person who intends to stay at the ryokan in accordance with the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Ryokan Business Act (Act No. 138 of 1948).

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5. The Ryokan may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that the Ryokan may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Ryokan Business Act.

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.
- (2) When the Ryokan is fully booked and there is no vacancy.
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order or good morals in regard to his/her accommodation.
- (4) When the person who intends to stay at this ryokan is deemed to fall under any of the following items (a) through (c).
 - (a) Organized Crime Groups as defined in Article 2, Item 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Groups (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as "Organized Crime Groups"), members of organized crime groups as defined in Article 2, Item 6 of the same article (hereinafter referred to as "Members of Organized Crime Groups"), associate members of organized crime groups or persons related to organized crime groups, or other antisocial groups.
 - (b) When the person is a organized crime group or a corporation or other organization whose business activities are controlled by a organized crime group or a member of an organized crime group.
 - (c) A person who is a juridical person and one of its officers falls under the category of an organized crime group member.
- (5) When the person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests.
- (6) When a person who intends to stay at this ryokan is a patient, etc. of a specified infectious disease as defined in Article 4-2, paragraph 1, item 2 of the Ryokan Business Act (hereinafter referred to as "patient, etc. of specified infectious disease").
- (7) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation (Excluding cases where the person seeking accommodation requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act (Act No. 65 of 2013. Hereinafter referred to as the "Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities") on Promotion of Elimination of Discrimination on the Basis of Disability).
- (8) When the person who intends to stay in the Ryokan has repeatedly made a request to the Ryokan as specified in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Ryokan Business Act as a request whose burden is excessive in its implementation and which may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests.
- (9) When the Ryokan is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of facilities and/or other unavoidable causes.
- (10) When the provisions of article 6 of the Iwate Prefecture Ordinance are applicable.

(Explanation of refusal to conclude a contract of accommodation)

Article 5-2. The person who intends to stay may request the Ryokan to explain the reasons for its refusal to enter into a contract of accommodation in accordance with the preceding article.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 6. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Ryokan.

2. If the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Ryokan has requested payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of payment of cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. If the Guest does not appear by pm. of the accommodation date (without advance notice hours after the expected time of arrival if the Ryokan is notified), the Ryokan may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contract by the Ryokan)

Article 7. The Ryokan may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that this ryokan may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Ryokan Business Act.

- (1) When the Guest is deemed liable for conduct and/or has conducted himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order and good morals in regard to his/her accommodation.
- (2) When it is recognized that the Guest falls under any of the following items (a) through (c).
 - (a) When the Guest is a crime group, a member of a crime group, a quasi-constituent of a crime group, or a person related to a crime group, or any other antisocial group.
 - (b) When the Guest is a juridical person or other organization whose business activities are controlled by a crime group or a member of a crime group.
 - (c) when the Guest seeking accommodation is a corporation which any of directors are proven to be a member of an organized crime group.
- (3) When the Guest is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests.
- (4) When the Guest is a patient, etc. of specified infectious disease.
- (5) When the Guest who intends to stay at the accommodation commits a violent demand act or asks for a burden exceeding a reasonable range with regard to the accommodation (except when the guest requests the removal of social barriers as provided in Article 7, paragraph 2 or Article 8, paragraph 2 of the Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities).
- (6) When the Guest repeatedly makes a request to this ryokan that is so burdensome in its implementation that it may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests, as specified in the Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Ryokan Business Act.
- (7) When the Ryokan is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure.
- (8) When the provisions of article 6 of the Iwate Prefecture Ordinance are applicable.
- (9) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, tampers with fire-fighting facilities and otherwise breaches Ryokan Regulations stipulated by the Ryokan (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid causing fires).

2. If the Ryokan has canceled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Ryokan shall not charge the Guest for any of the services during the contractual period he/she has not received.

(Explanation of Cancellation of Accommodation Contract)

Article 7-2. In the event that the Ryokan cancels the accommodation contract in accordance with the preceding article, the Guest may request an explanation of the reasons for such cancellation.

(Registration)

Article 8. The Guest shall register the following particulars the Front Desk of the Ryokan on the day of accommodation:

- (1) Name, address, and contact information of the Guest(s).

(2) Nationality and passport number for foreigners who do not have a domicile in Japan.

(3) Other particulars deemed necessary by the Ryokan.

2. In the case when the Guest intends to make payment of the charges in accordance with Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons, credit cards, etc., these credentials shall be shown in advance at the time of registration in accordance with the preceding paragraph.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)

Article 9. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Ryokan from 3:00pm. on the day of arrival to 10:00am on the day of departure. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy the guest room all day, except for the days of arrival and departure.

2. The Ryokan may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the guest room beyond the time prescribed in the same Paragraph, in this case, extra charges shall apply as follows.

- (1) Up to 3 hours: 30% of the equivalent in the sum to the room charge.
- (2) Up to 6 hours: 60% of the equivalent in the sum to the room charge.
- (3) More than 6 hours: 100% of the equivalent in the sum to the room charge.
- (3. The amount equivalent to the room charge in the preceding paragraph shall be 70% of the basic room charge.)

(Observance of Ryokan Regulations)

Article 10. The Guest shall observe the Ryokan Regulations established by the Ryokan. Ryokan Regulations are posted within the premises of the Ryokan.

(Business Hours)

Article 11. The business hours of the main facilities, etc. of the Ryokan are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided. Notices displayed in each place, service directories in guest rooms and others.

2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable circumstances of the Ryokan. In such cases, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)

Article 12. The explanation of accommodation charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the attached Table No. 1.

2. Accommodation charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid at Front Desk at the time of the Guest's departure or upon request by the Ryokan in Japanese currency. Other means acceptable to the Ryokan are traveler's checks, coupons and credit cards.

3. Accommodation charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him/her by the Ryokan.

(Liabilities of the Ryokan)

Article 13. The Ryokan shall compensate the Guest for damage if the Ryokan has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases where such damage has been caused due to reasons for which the Ryokan is not liable.

2. Even though the Ryokan has received the "PASS MARK" (Certificate of Excellence of Fire Prevention Standard issued by the fire station), furthermore, the Ryokan is covered by the Ryokan liability insurance in order to deal with unexpected fire and/or other disasters.

(Handling when Unable to Provide Contracted Rooms)

Article 14. The Ryokan shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.

2. When arrangement of other accommodation cannot be made, notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Ryokan shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to reparations. However, when the Ryokan cannot provide accommodation due to causes for which the Ryokan is not liable, the Ryokan will not compensate the Guest.

(Handling of Deposited Articles)

Article 15. The Ryokan shall compensate for the Guest for damages when loss, breakage, or other damage occurs to goods, cash, or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when such damage is caused by force majeure. However, for cash and valuables, when the Ryokan has requested the Guest for an appraisal of the value and the Guest has failed to do so, the Ryokan shall compensate the Guest up to a maximum of 100,000yen.

2. The Ryokan shall compensate the Guest for damages when loss, breakage or other damage is caused, through intent or negligence on the part of the Ryokan, to the goods, cash or valuables brought onto the premises of the Ryokan by the Guest but are not deposited at the Front Desk. However, in the event that the type and value of the guest's property or cash and valuables have not been disclosed in advance, this ryokan shall compensate for damages up to 100,000yen, except in the case of intent or gross negligence on the part of the Ryokan.

(Custody of Baggage and/or Belongings of Guest)

Article 16. When the baggage of the Guest is brought into the Ryokan before his/her arrival, the Ryokan shall be liable to store it only in the case when such a request has been accepted from the Ryokan. The baggage shall be handed over to the Guest at the Front Desk at the time of his/her check-in.

2. When the baggage or belongings of the Guest are found after check-out and ownership of the article is confirmed, the Ryokan shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no such instructions are given to the Ryokan by the owner or when ownership is not confirmed, the ryokan will keep the property for 7 days, including the day of discovery, after which it will be reported to the nearest police station.

3. The Ryokan may dispose of said baggage or belonging in the case of the previous clause. The Guest shall not present any objection to the disposal of said baggage or belonging as carried out by the Ryokan and shall forfeit any right to claim compensation for the same.

(Liability in Regard to Parking)

Article 17. The Ryokan shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Ryokan, as it shall be regarded that the Ryokan simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Ryokan or not. However, the Ryokan shall compensate the Guest for damage caused through intent or negligence on the part of the Ryokan in regards to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)

Article 18. The Guest shall compensate the Ryokan for damage caused through intent or negligence on part of the Guest.

Attached Table No.1 Calculation Method for Accommodation Charges (Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

Contents		
Total Amount to be Paid by the Guest	Accommodation Charges	Basic Accommodation Charge (Room charge + Breakfast & Dinner)
	Extra Charges	Extra Meals & Dinner (other than Breakfast and Dinner) and Other Expenses Taxes
	Taxes	a. Consumption tax b. Hot Spring tax

Remarks:

1. Basic Accommodation Charge is based on the tariffs, which are posted at the front desk and in guest rooms.
2. Child fare is applicable to elementary school students and below. 70% of the adult rate is charged when meals and bedding equivalent to those for adults are provided, 50% when meals and bedding for children are provided, and 30% when bedding only is provided.
For an infant to whom meals and bedding are not provided 2,000 yen shall be charged.

Attached Table No.2: Charge for Ryokan/hotel (Ref. paragraph 2 of Article 6)

Date		No Show	Accommodation Day	Prior to Accommodation Day									
				1 Day	2 Day	3 Day	5 Day	7 Day	14 Day	30 Day	60 Day	90 Day	
Do mestic	1 to 14	100%	100%	50%	30%	30%	20%	20%	10%				
	15 to 30	100%	100%	50%	30%	30%	30%	30%	10%				
	31 to 100	100%	100%	80%	50%	30%	30%	30%	30%				
	101 and up	100%	100%	100%	100%	100%	50%	50%	30%	30%	15%		
educational travel	15 or more	100%	100%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	50%	30%	
Over Seas *1	Up to 14	100%	100%	80%	50%	30%	30%	30%	30%				
	15 or more	100%	100%	100%	100%	100%	50%	50%	30%	30%			

*1 If the main address of the Guest is overseas

1. The percentages signify the rate of cancellation charge to the Basic Accommodation Charges
2. When the number of days contracted is shortened, the cancellation charges for its first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. Where there is a group booking of 15 or more persons and should a part of the group cancel their booking (below referred to as "Canceled Guests"), the Ryokan/hotel shall, out of the Canceled Guests, waive the cancellation charges for up to a maximum number of persons corresponding to 10% (fractions are rounded up) of the number of scheduled guests as of 10 days prior to the initial date of stay (if a booking was received after that day, the day of receipt booking) of Guests of the said group.

Overseas Guests

1. Concerning overseas travel agencies, with the exception of cases in which advance payment of accommodation fees by credit card is required at the time of booking, the Ryokan/hotel shall not take the booking even if the booking was made via an internet agent (Rakuten Travel, Jaran Net, etc.). In cases of prepaid bookings made via the internet, there will not be a sales commission to be paid by the Ryokan/hotel to the travel agent.
2. In the case of group bookings, accommodation fees must be transferred to an account as specified by the Ryokan/hotel at least 14 days prior to the date of stay (if the booking was made within 14 days of the date of stay, by the day following the date of booking). A booking will be canceled if a transfer cannot be confirmed.